

第83回 東経夏期情報会

ウクライナ戦争の長期化がもたらす経済損失、米国の急ピッチの利上げ、中国の不動産バブル崩壊と世界的な景気後退懸念が現実味を帯びてきました。ウイズコロナへの移行が遅れる日本で、過剰債務となった企業の試練の時期が始まります。

恒例の情報会はおかげさまで83回目となります。第1部では中国経済を長年見続けてきたジャーナリストの富坂聰氏を迎えて、下記2部構成です。ぜひ、ご出席賜りますようお願い申し上げます。なお、会場は感染症対策のため席の間隔をとり、定員を先着150名様とさせていただきます。

第1部 「世界の変数に翻弄される中国経済と日本の未来」

拓殖大学海外事情研究所教授 ジャーナリスト **富坂 聰氏**

富坂 聰 (とみさか さとし) 講師プロフィール

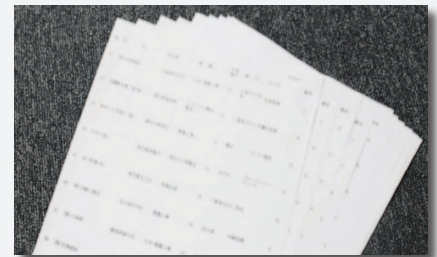
1964年、愛知県生まれ。拓殖大学海外事情研究所教授。ジャーナリスト。北京大学中文系中退。『週刊ポスト』、『週刊文春』記者を経て独立。1994年、第一回21世紀国際ノンフィクション大賞(現在の小学館ノンフィクション大賞)優秀作を「龍の『伝人』たち」で受賞。著書には「中国の地下経済」「中国人民解放軍の内幕」(ともに文春新書)、「中国マネーの正体」(PHPビジネス新書)、「習近平と中国の終焉」(角川SSC新書)、「間違いだらけの対中国戦略」(新人物往来社)、「中国という大難」(新潮文庫)、「中国の論点」(角川Oneテーマ21)、2016年12月上旬にトランプ大統領の当選を受けて出版した「トランプVS習近平」(角川書店)、「中国がいつまでもたっても崩壊しない7つの理由」(ビジネス社)などがある。



第2部 「注目企業300社の解明」

マスコミでは“危ない300社”として取り上げられ、与信管理担当者のみならず関心を集めています。東京経済が情報を収集した、様々な問題を抱える企業群から注目すべき300社を実名でリストアップし、問題点を簡潔かつ生々しく解説していきます。

“暴排条例に絡む気になる企業”のおまけ付きです。



▶ **日時** 令和4年 **9月8日** (木) (開演13:00~16:30) ※開場12:00

▶ **会場** 東京証券会館8F 証券会館ホール (東京メトロ茅場町駅8番出口直結)
東京都中央区日本橋茅場町1-5-8 TEL:03-3667-9210
※駐車スペースが少ないため、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

▶ **会費** 10,000円 (※1名: コロナ対策のためなるべくお振込みをお願いします)
※マスクご着用の上、お名刺をご用意ください。

▶ 申込先

東京経済株式会社 東京本部
TEL:03-3544-6611 FAX:03-3544-6600

主催 / 東京経済株式会社 東京本部 代表取締役社長 / 越智 英雄 専務取締役 / 越智 憲雄 取締役東京本部長 / 井出 豪彦
〒104-0045 東京都中央区築地3丁目10番2号(第6東経ビル)

貴社名 _____ 御参加者 _____ ほか _____ 名

御住所 _____ TEL _____

お支払方法
(○印 なるべくお振込みをお願いします) お振込み・当日現金

▶ メールアドレス tokyoj@tokyo-keizai.co.jp
FAX 番号 03-3544-6600

当用紙をそのままFAX、又はメールに必要事項をご記入の上お申込み下さい【HP版】